

令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

大垣市明るい青少年都市市民会議

大垣市明るい青少年都市市民会議では、青少年の健全育成について広く市民の理解を深めるとともに、家庭・学校・地域社会が一体となって、地域ぐるみの実践活動の推進と、その定着を図るために活動しています。活動のメインである2月22日（日）に開催した市民会議大会では、社会奉仕活動や青少年育成活動に、多年に渡り貢献いただいた青少年・青少年育成者や、青少年団体の方々に敬意を表して会長表彰を行うほか、「わが家のふれあいアルバム」表彰、大垣市少年の主張大会を実施いたしました。

今年度の会長表彰では、青少年の部7名、青少年育成者の部10名、青少年団体1団体に会長である市長から表彰状を授与いたしました。



○2月22日に開催した大垣市明るい青少年都市市民会議会長表彰の様子

また、市民会議大会内にて、「第44回大垣市少年の主張大会」を開催し、大垣市内の6人の中学生に、日ごろ実践していることや感じていることなど発表していただきました。



震災と復興への思いや、生まれ育った地域の人口減少とまちづくりへの思い、国籍にとらわれずひとり一人を尊重することの大切さについてなど、身振り手振りを交えてのすばらしい発表でした。会場は大きな拍手に包まれ、次代を担う青少年の健全育成の推進につながりました。

また、この大会にあわせて、「第3日曜日は家庭の日」を多くの方々に知っていただけるよう、「家庭の日啓発図画・ポスター県入賞作品展」及び「わが家のふれあいアルバム作品展」を、学校や仕事で休みの週末に子どもと一緒に作品を見ていただくため、2月6日から3月1日まで大垣市情報工房1階情報工房ギャラリーにおいて開催いたしました。

この作品展では、岐阜県による令和7年度「家庭の日啓発図画・ポスター」県入賞作品と「わが家のふれあいアルバム」入賞作品の展示を行いました。

大垣市青少年育成推進員会主催の「わが家のふれあいアルバム」では、市内の小中学生から合計2,461点の応募がありました。寄せられた作品には、家族で協力しながら季節の行事に取り組んだり、誕生日ケーキを囲んで笑顔いっぱいでお祝いする様子などが丁寧に描かれたり、写真や折り紙を貼ったりしながら、工夫して家族とのかけがえのない時間を表現した素晴らしい作品が数多くありました。

また、家族への思いを書いた部分からは、アルバムの作成を通して、忙しい日常生活の中でも家族皆での時間を持つことの大切さや、家族が日々支えあって生活していることへの感謝など、大切な気づきが得られる機会となっていることが伝わってきます。8か月を通したふれあいアルバムの作成は、家族が集い、一緒に過ごすかけがえのない時間の重要性を感じてもらい、食事を囲み家族で団らんしたり、お出かけをしたりと家族の絆を深める機会として「第3日曜日は家庭の日」の啓発につながっています。



令和7年度「わが家のふれあいアルバム」作品の一部



展示の様子（大垣市情報工房）